

## ■会員近況報告（卒業期順）

活動休止状態でも、“絆”としての会報だけは発行し、お互いの元気づくりになればと、この「近況報告」へのご投稿を皆様にお願ひしました。

その時は、オリ・パラも終わったばかりで、秋から冬にかけてコロナ感染も収束すると思っていましたが、現状は、皆様ご承知のとおりです。

先行きは不透明ですが、どうやらこの近況報告の目的だけは達成することができるようです。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

この二年連続の、コロナ版とも言える近況報告が一日も早く思い出話になることを願っています。

なお、半年をこえる期間での投稿募集でしたので、それぞれの背景時期が異なりますことはお読み取りください。 (2022. 2. 28 事務局)

### 高1（昭25卒）伊藤雅義（京都市山科区）

齢90歳、昨年は卒寿の年でした。年相応と言おうか、加齢とともに難聴・腰痛等々身体の故障が各所に出てきて、確実に老化が進行しています。ならば、その状況を多少なりとも抑止しようと、近くのスポーツクラブに通い、ストレッチ体操や水中歩行などを日課にしています。始めてから18年、今ではクラブ利用者のうち最高齢になりました。

話は変わりますが、私ども松江中学69期・松江高校1期の同窓会「一双会」は、昨年大半の会員が卒寿を迎えたのを機にその幕を閉じました。のちに日本や世界を舞台に活躍し、それぞれ名を成した多くの俊英と共に、中学・高校の6年間を、赤山台上二本松の下で学んだことを今でも誇りに思っています。

近畿双松会については、近畿に在住する旧制松江中学の卒業生を会員とする（旧）近畿双松会と、新制松江高校卒業生を会員とする近畿松江高校同窓会を統合するに当たり、男女共学などの経験のない中学の先輩のなかには、この統合に戸惑う声もあったと聞いて、時の流れを感じたことなどを思い出しました。

### 高2（昭26卒）堀江眞三人（西宮市）

私はとうとう90歳になった。まだボケは出ていない。百貨店に行くと等身大の鏡に全身を映して姿勢を見ることにしている。背筋は真っすぐ伸びて腰も曲がっていない。全体に生き生きとしてにっこり笑った顔が鏡の中でも笑い返している。まだ大丈夫とほほえむ。これからは金よりも健康が欲しい。そのため投資なら惜しまないし、90年の波風を凌いで来た我が身をいたわりたい。

5年ごとに発刊される分厚い卒業生名簿「双松」は昨年発刊されたばかりだが、その5年前の名簿と比較すると多くの級友があつた世に旅立っていて、あいつもか彼もかと心が痛む。2期では195人が逝去（行方不明者含む）生存者が93名に急減していた。全体から見れば32%の生存率で、今後更に減る一方である。さて、次回の名簿は5年後の令和8年に発刊されるが、果して生きて読むことができるかどうか。私はできると確信している。

### 高6（昭30卒）荻野克彦（箕面市）

2年続く自粛生活で、楽しみはコロナ直後に始めた松高の友人8名との月例リモート同窓会。会は誰かのプレゼンで始まり、その後それについて皆で話合う約2時間の会合。プレゼンは毎回一人、順番に全員が当たる。話題は自分の仕事や人生の話、今の関心事ほか様々。

それにしても東北、九州にまで散らばる友人と毎月顔を合わせるなど以前は考えもしなかったこと。最初、皆Skypeに不慣れで四苦八苦したが、乗り物使わずエコで、身体も楽な、楽しい会合。発案者西村二郎氏に感謝。

他に地域の国際交流協会のボランティアをやっている。在米時の体験も踏まえ、グローバル化が進む中、外国人も住みやすい「まちづくり」に関わってみようと15年前始めた。日本語学習支援、留学生との交流、多言語情報提供などに関わってきた。頼まれて理事長も6年やり、今も理事。

今はコロナに悩まされながら、協会の情報誌の編集、読書会のお世話をしている(カズオ・イシグロの「日の名残り」の原書を米国人の先生と読む)。若い人達に揉まれて、私にとってはいいボケ防止。これも感謝。

### 高9 (昭33卒) 伴 稔也 (橿原市)

令和2年～3年と、コロナ、コロナで明け暮れた年でした。不要不急の外出は避けて、一杯飲み会にも行かず、家に籠らざるを得ない2年間でした。何とかこの禍いの期間を生かせないか・・・。趣味のレベルを上げよう・・・と、晴耕雨読ならぬ「晴彫雨整(せいちょううせい)」、彫：版画を彫る、整：自律神経を整える、終活整理する・・・に徹してみました。

その成果かどうかは定かではありませんが、拙作の版画2作品が、令和3年奈良県美術展に入選(下に掲載させていただきました、題名 琵琶舞)。

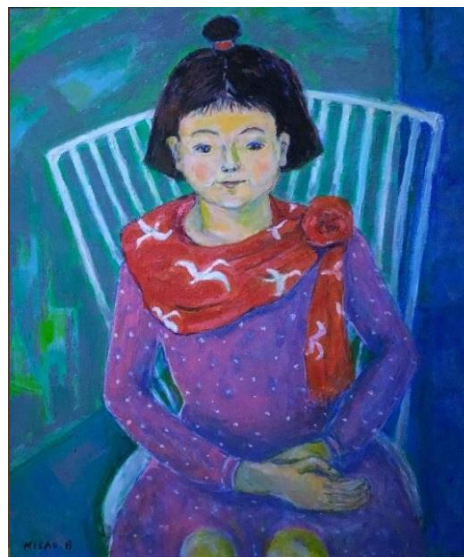
また、全日本アートサロン美術展に入賞(佳作)し、後者は令和4年3月1日～6日、大阪市美術館(天王寺)で展示されます。第6波が襲来していますが、何とか乗り切りたいと思っています。

(編集者：後日報告)

5月25日から30日まで、奈良の飛鳥画廊で伴さんの版画と奥様の洋画の「ふたり展」が開催されました。今回が最終回ということもあり、連日多くの訪問者で賑わいました。

メルマガやHPでお知らせしていたので、当会の会員の方もたくさん来られたそうで嬉しく思います。

最終日に16期のグループ(松本耕司さん、森藤哲章さんご夫妻、土田和男さん、田中由美子さん)と編集者(押田良樹11期)が訪問し、ご夫妻の見事な作品を鑑賞したあと、ご夫妻と記念撮影をしました。





なお、5月25日の毎日新聞奈良版に「ふたり展」が写真入りで紹介されました。

# 夫婦の制作集大成

夫婦で芸術活動に取り組む橿原市葛蒲町3の伴稔也さん

(83)と妻操さん(78)が25日から、最後となるそろっての展覧会「ふたり展」を開く。2004年から1年おきに開いてきたが高齢となり、10回目となる今回で区切りを付けることにした。

稔也さんは大阪ガスを定年退職後、長年の趣味だった版画に没頭。歴史好きだったこともあり、仏や天女の絵を中心に制作に取り組んできた。操さんは20歳で本格的に油絵を始め、今では国内外の作品展に出品する実力派。自宅で絵画教室も開いている。部屋の大半は、それぞれのアトリエと作品の保管場所になっている。

伴稔也さんと操さん夫妻。今回は共通テーマとして桜を描いた作品も展示する。橿原市葛蒲町3で

## 伴稔也さん、操さん きょうから「ふたり展」

多くの人が足を運んだふ

多

後6時(最終日は午後3時まで)。無料。【稲生陽】

る。ふたり展は04年、橿原市のホテルロビーを借りて始めた。夫が打ち込む版画の面白さを感じ始めた操さんと、妻が手がけるような大きな作品を自分も作りたいと思った稔也さんが、一緒に展覧会を開こうと思いついたという。共通テーマの作品も制作し、これまで延べ約2200人の来場があった。

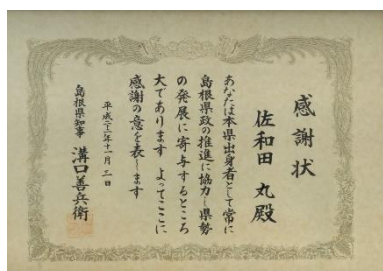
たり展だが、年を重ねるに従い、作品の搬出入もこたえるように。10回目となる開催を最後にすると決めた。二人は「このへんが潮時。一緒に作品を並べることで互いに大きな刺激になった」と笑顔を見せた。

ふたり展は近鉄飛鳥駅前画廊飛鳥(明日香村平田)で30日まで。午前10時5分



## 高10 (昭34卒) 佐和田 丸 (枚方市)

今年の正月は、コロナの関係で2年ぶりに子供家族が帰省してくれ、賑やかで楽しいひとときを過ごすことができました。孫の成長に驚き、新発見もありよこびました。早くコロナが終息してほしいですね。本会報が出るころは、どうなっているのでしょうか・・・。



自宅近くの広大なUR団地内を、健康のため毎日1時間余り散歩しています。行き交う女性はマスクだらけで、みんな美人になり、散歩が一段と楽しくなりました。

地元、縣市町村いづこもなにかとたいへんのです。育ててもらった恩義もあり、郷里にお役に立てることは、何かと協力してきました。

終末整理しておりましたら、知事の感謝状ができました。

## 高11 (昭35卒) 押田良樹 (吹田市)

(1) 外出は近場の万博公園とその周辺のウォーキング、そして医者、歯医者、散髪くらいだった一年。しかし、私にとってプラス面もあった。おかげで阪急時代から応援しているオリックスの試合を一年間を通してテレビ中継で堪能できた。

しかも、オリックスの25年ぶりのリーグ優勝もあり最後まで退屈しなかった。(自由投稿に別掲) 阪神ファンの松本会長とは折に触れ「慰め、励まし」あってきたが、念願の関西対決がならず残念だった。

(2) ウォーキングは年間一日平均7700歩。前年より減ったが、年齢を考えあまり歩きすぎないように目標を7000～8000歩にし、そのうち20分は早足歩行を励行して、量より質重視で健康維持に努めている。

(3) 松江の「橋巡り」は、残念ながら休止状態が続いている。

(4) 諸説があるという、ヘルンの京店の第二の住まいの場所解明のため調査を続けてきたが、遂に「ここだ」という明確な場所を特定することができた。近く何らかの発表を予定している。

## 高11 (昭35卒) 畑田 稔 (神戸市垂水区)

近畿双松会の皆様お元気ですか。

コロナ騒ぎで近畿双松会総会も昨年、今年と2年連続で流れ、悔しい思いでいます。一日も早いコロナウイルス感染症の終息を願っています。

近況ですが、昨年からあらゆる行事や計画が中止となり、結果として運動不足で2kgも体重が増えたため、毎日の歩行距離を伸ばしたり速歩を組み入れたりして頑張っていましたが、昨秋、歩行中に右足と腰に痺れが出て、数百米で歩けなくなる症状が出て運動中断になりました。

検査の結果、脊柱管狭窄症と判断されブロック注射や投薬で約4カ月間通院し、今年やっと元の状態に戻り運動再開しました。11月頃からコロナも少し落ち着いてきたので、先日は会社同期仲間と1年半ぶりのゴルフを楽しみました。

とは言っても年令も80歳の太台に乗り、今後いろいろな病気が出てくる可能性もあるため、もっと真剣に終活をしなければと思っている今日この頃です。

### 高 13 (昭 37 卒) 安部正毅 (神戸市東灘区)

私は松江北高校を卒業し、今年 79 歳になります。現在は日本技術士会、日本繊維技術士センター(JTCC)に所属しております。

中学から続けていた軟式テニスは 70 歳くらいまで頑張っていました。今は家で素振りのまねごとをするだけになりました。幸い家内はあちこちに趣味の友達を開拓し、ますます元気です。



写真は昨秋信州大で講義した時のものです。学生から元気もらっています。私たちの学生時代と異なり講座名を聞いても何を学んでいるのかわからなくなっています。私の関係する繊維系でも「先進繊維・感性工学科」「機械・ロボット学科」「化学・材料工学科」「応用生物科学科」「国際連携プログラム」「ファッション工学プログラム」「先進複合材料工学プログラム」等々。ITに弱い私は四苦八苦です。

これからも、上杉鷹山公の「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」を胸に、残された時間がどれくらいかわかりませんが一日一日を大切に過ごしていきます。

### 高 13 (昭 37 卒) 桑原洋史 (京都市西京区)

昨年 6 月 25 日出勤前、早朝 5 時半頃、玄関の方でガーンと言う大きな鈍い音。何かと見に行くと妻が血まみれになって呻いている。階段から転げ落ちたらしい。

呼びかけに反応がない。救急病院に搬送、結果、ここでは対応出来ないと。それで日赤へ。ここでも同様の検査。結果、重症の交通事故患者と同じですと。

病名：頭蓋底骨折、脳出血、右肋骨多発骨折 9 本、右鎖骨骨折、右肩甲骨骨折、血気胸、腰椎粉碎骨折、という状態。酸素吸入を増やしても酸素濃度は上がらない。気になるがもう病院に任せるしかない。その後、肺が広がらないので鎖骨と肋骨の手術をしないと、7 日後に手術、その後は、状態は落ち着いて来た。

ひと月後、リハビリ病院に転院。この時、妻と久しぶりの対面、大きな変化なくホッとした。リハビリ病院では月に 1 回カンファレンスがあり、妻と面談でき、精神的に楽になった。そして 12 月 23 日退院。少しの距離は歩けるようになった。良くここまで回復してくれたと感謝。

家族の新年会・・・今年も誰欠ける事なく集まった。去年より 2 人増えている。又、妻不在で分かった事は、私は何も出来ない事(困ったもんだ)と、息子達家族が妻の不在を忘れさせてくれるような心遣いをしてくれた事。

これって妻の近況報告？

### 高 14 相当 (昭 38 山口高校卒) 小泉勝是 (長岡京市)

初夢ではないですが年明けに懐かしい「文楽」鑑賞会の夢を見ました。

コロナのお陰で、繁昌亭の「落語」鑑賞会やハイキングなどの近畿双松会の楽しい催しが途絶えて皆様とは本当にご無沙汰です。

約 7 年続けて参加の「子ども向けの科学実験やおもちゃ作りのイベント」も開催件数が激減してしまいました。

でもこれで落ち込む訳には行かず長年溜め込んできた本や道具類の整理、新作おもちゃの試作、小さな庭での野菜作りなどに頑張っているこの頃です。

外出の機会が減った分、少しでも体を動かさねばと、押田先輩から学び 3 年前から始めた散歩運動に励んでいます。偶々テレビ番組で紹介の本に、「1 日 8,000 歩・早歩き 20 分で病気予防」とあり、意を強くして、小さな長岡京の市内を毎日歩き回っています。

#### 高 14 (昭 38 卒) 木幡晃正 (丹波篠山市)

先日 1/20、WOWOW 録画でスピルバーグ監督、トム・ハンクス主演の映画「ブリッジ オブ スパイ」を観ました。実際にあったソ連のスパイとアメリカ人パイロットの人質交換の話ですが、米国交渉人ジェームス・ドノバン弁護士 (1916~70) の人柄と交渉に惹かれてしまいました。

ほかにも、ドノバン弁護士は 1962 年、アメリカ政府の依頼で、ビッグス湾侵攻事件の失敗で捕虜となった 1,113 人の解放のためにキューバに向かい、カストロ首相と交渉し成功させ、次いで 1963 年にはキューバに拘留されていた子供を含む 9,703 人の解放を確保するという大きな業績を挙げています。

現代の出来事でも知らない事だらけですが、スマホ等で検索していくと、色々解りますヨ!

「皆様、今年も楽しい良き時間を探して、2022 年を楽しく元気に暮らしましょう!」

#### 高 14 (昭 38 卒) 宮原琢郎 (堺市南区)

##### <近畿双松会と私>

2008 年、実家で法事に出席したとき、姪から子供が松江北高に入学することになったので、どんな学校か教えて欲しいと聞かれましたが知識がなく、インターネットで調べました。

その時、近畿双松会が行事でウォーキングをしているのを知り、その年の「明日香村」に参加させていただきました。

その後、総会に初めて出席させていただいたとき、受付で肩を叩かれた人の顔を見て驚きました。岩間令道 (24・理 3 期) さんです。大阪証券取引所の 2 階で開業されている岩間クリニックの医師です。私は 2002 年に北浜にあった会社を退職し、自宅は堺市であります。それまで診察していただいた岩間クリニックにその後も通院していました。

自宅から遠い、土曜日が休み、とのマイナス面はありますが、診察に安心感と信頼感があり通っていました。松江、北高の雰囲気こそうさせたのか、岩間氏の診察から安心感を受けました。

島根県の観光ポスターに「運は一瞬、縁は一生」と書かれています。「縁」は、家族、学校、職場、同好会等多くあり、運、不運と違い、長く続きます。今後も近畿双松会にお世話になろうと思います。

#### 高 14 (昭 38 卒) 三好洋二 (宝塚市)

昭和 44 年に鳥取大学医学部を卒業し、山陰、大阪の病院に勤務し、56 歳の時に、オーナーになりたくて、池田駅前で三好内科を開業しました。

21 年間務めた昨年夏、東京オリンピック、パラリンピックを観戦し、個人競技より、野球やサッカーやバスケットボールのような団体競技が面白くて楽しいと、自院を譲って、今年から再び勤務医に戻りました。

77 歳の喜寿を迎えて思うことは、人生は使うより、使われる方が、ずーっと楽しくて面白い。



#### 高 14 (昭 38 卒) 齋藤丸子 (京都市西京区)

今年の寒さは、特に厳しいですね。雪も例年より多い。そんな中、散歩していると近所の庭に「日本水仙」がひっそりと咲いていて、嬉しくなります。

日本水仙は素朴で香りが良く、華やかさはないのですが、存在感があります。生け花の一月の生花として生けた時の感動を今も忘れられません。それぐらい、道端に何気なく咲いていて、まさか「生け花」に生けるとは思っていませんでした。二、三本挿すと、ほのかに香りを放ち、幸せな気持ちになりました。家の梅の木も蕾が少しずつ膨らんでいるように思います。楽しみです。

1月16日には、宝塚歌劇鑑賞会に参加できて感謝です。劇場は満席でコロナ対応ができていたのだなと思いました。阪急電車は昨年は冬期・コロナ禍の時、各車輛、窓が開いていたのに、今期は窓は閉まっています、換気十分のステッカーが貼ってあるので、流石、阪急と思いました。

宝塚鑑賞に誘っていただいた時は、一度ぐらいはと思っていたのに、再度参加しました、一回目より二回目と学ぶことが多くありました。全てに無駄なく隙なく、計算し尽くされた人工美を感じました。観客を飽きさせない「おもてなし」の心を学びました。

お世話いただいた皆様に感謝申し上げます。食事会が出来なくて残念でしたが、次回は楽しくお喋りしながらお食事できたらいいですね。

ありがとうございました。

### 高16 (昭40卒) 梅木隆志 (大阪市鶴見区)

5年ほど前から右耳の後ろが腫れ「おたふく風邪」のような状況で病院行き、診察を受けたところ耳下腺炎とのことでした。検査の結果、悪性ではないので気にならなければ、そのままにしておいても良いとのことでした。

それで半年ごとに経過観察のためエコー検査を実施していました。その後、直径5センチくらいの大きくなり、鏡を見たり、触ると気になりだし、手術することにしました。

昨年2月手術予定でしたが、コロナの関係で急がない手術は延期しますとのことで、再三延期され6月の手術になりました。手術は、19歳の時の盲腸以来で全身麻酔は初めての経験でした。

手術後、摘出されたのを見せられたのですが卵より一回り大きくびっくり。現在はすっきりしたところです。耳下腺炎の原因はタバコとのことでした。タバコを吸っている人が全員になっていないので半信半疑ですが、禁煙と戦っているところです。

### 高16 (昭40卒) 清原正義 (浜田・松江市在住)

年の暮れになりました。1年があつという間に過ぎてしまいます。

先日、松江北高145周年双松会記念行事で講演をしました。同期の金津君が会長、古瀬君が副会長、幹事長が金平君ではお断りのしようがなかった次第です。北高のHPに西川津校舎体育館裏の部室の写真があったので懐かしく紹介しました。



一番右が私がいた陸上部の西川津の部室

皆様、お元気でお過ごしください。

### 高16 (昭40卒) 松本耕司 (枚方市)

タケノコにさほどの執着がある訳ではないが、生家近くの竹藪で獲れる、子どもの時から食べていたものとなれば話は別である。

コロナ一年目、県マタギ自粛の要請に応えた後の無残な竹藪を見て涙し、後始末に大汗をかいたが、二



年目の去年、まったく同じことが起きた！！伸びた竹の切り倒し、根の掘り起こし、竹を輪切りにしての廃棄運搬と、電気ノコギリまで買って昨年末、漸く下記の姿にまで復旧させた。



before



after

期待の今年三年目・・・、闘いはこれで終わったはずだったのに、また同じことが起きそうな気配に、今、悶えている。せめて、旬の時期での県マタギ自肅などの野暮な話はナシにしてもらいたいと願っている。

さすがに、あと5年、80歳になれば生家の家じまい、墓じまい、竹藪じまいをしようという覚悟をしたところに、お寺さんから法事の予告があった。なんと6年後に亡父の50回忌と亡母の33回忌がセットでやってくると。であれば是非もなく、あと6年、81歳まではこのままで頑張ろうと密かに決意した。

## 高16 (昭40卒) 三吉 孜 (川西市)

### <映画的近況>

去年はコロナ禍で趣味の写真撮影や旅行は以前に比べてがた減りました。BGMを聴きながらパソコンに向かっていることが多くなったこの頃です。

偶に、私の興味を駆り立てる映画が来たら見に行きました。去年は映画館で8本見ました。見たのは・・・洋画を中心に、『天井桟敷の人々』(映画史の名作デジタル版)、『ファーザー』(名優アンソニー・ホプキンス主演)、『MINAMATA』(写真家ユージン・スミスと水俣病)、『過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい』(写真家森山大道のいま)、『真夏の夜のジャズ』(名画のデジタル版)、『チェイシング・トレイン』(ジョン・コルトレーンのドキュメント)、『サマー・オブ・ソウル』(50年封印されていた映画)、日本の喜劇『老後の資金がありません!』(天海祐希ファンの家内と)

～古い映画の再上映を見るのは、私の気持ちの中で記憶や情報の整理等があると思います。(なお、マニアックな映画は観客もまばらです)

## 高16 (昭40卒) 森藤哲章 (樫原市)

### <東京オリンピック2020>

昭和39年(私が北高3年生の時)に行われた東京オリンピックの現地での見学が夢に終わったため、今回はぜひ国立競技場内でオリンピックを見学したいと思っていました。インターネットで開会式を含めた入場券の申し込みをしましたがことごとくはずれ、そのため飛鳥II(クルーズ船)でのオリンピック観戦を申し込み、なんとか会場内での観戦が実現しそうでした。

楽しみにしていましたが、コロナ騒動のため無観客開催が発表され、それではとパラリンピックの申し込みをして開会式の切符をやっと手に入れましたが、結局、パラリンピックも無観客開催と発表されました。

せめて、国立競技場の雰囲気でも味わおうとパラリンピックの開会式に合わせ、ドライブして東京に行きました。



閉会式の夜、国立競技場内から打ち上げられた花火は国立競技場のすぐ外側で見ることが出来ました。なお、インターネットを通じて予約金の払い戻し手続きをしたところ、全額無事に返金されました。



#### 高 18 (昭 42 卒) 小田 一美 (奈良市)

皆さんこんにちは！ コロナが一向に収まりませんね。それどころかすぐ身近に迫って来ているのを実感している今日この頃です。私は基礎疾患を持っていますので、罹患しないように日頃から気を付けています。

家に閉じこもってばかりでも身体に良くないので、朝のウォーキングと月 2~3 回程度のゴルフなどでリフレッシュを図っています。

同期会も長い間開催できていませんので、最近ひさしぶりに一部の同期の皆さんに生存確認をしたところ、全員無事に生きながらえているとの連絡があり、ひと安心したところです。早くコロナが収まり、普通の日常生活が取り戻せた段階でできるだけ早い時期に同期会が開催出来ればと思っています。同期の皆さん始め、双松会の皆さん、どうかご自愛ください。

明るい未来を信じてそれまで頑張りましょう。

#### 高 20 (昭 44 卒) 山崎麻里子 (大東市)

父が 2020 年に 102 歳で亡くなり、松江には誰もいなくなりました。妹達と相談して、実家もお墓も処分。

家は、そのまま欲しいという人がいて壊さずに済みました。石見地方にある祖先のお墓は、墓じまいをして向こうで合祀。

両親の骨は、松江でお世話になったお寺さんが京都の大谷本廟に永代供養のブースを持っているので、そこへ入れてもらいました。

全て片付いてきれいさっぱり。でも、松江には何も無くなり、寂しくなりました。幸い、高橋一清さんの追っかけをされていて、「松江文学学校」を受講しているので、ホテル泊りで年に何回も帰っています。(今までは聴くだけでしたが、今年は随筆に初挑戦！)

実家は、不動産屋さんと契約終了後は一度ものぞいていません。気持ちの整理がついたら、そのうち見に行こうと思っています。

#### 高 21 (昭 45 卒) 野津一雄 (尼崎市)

令和 4 年になりましたが、相変わらず新型コロナの影響が残っております。皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、私も昨年は新型コロナに翻弄された一年でした。

母の一周忌を、お寺さんをお願いして 7 月 4 日に松江市内の菩提寺で実施することとしておりました

が、コロナ第5波がピークとなり、兵庫県や弟の住む大阪府の感染状況も深刻となっております。

そこで、一周忌の準備も進んでいましたが、松江での出席者に感染流行地域の兵庫、大阪からコロナウイルスを持ち込んで出席者の皆さんに感染させてはいけないので、変則的ではありますが、主催者の私たち夫婦及び弟夫婦は欠席し、一周忌の執り行い（お寺さんへの応対、支払い、出席者へのお礼の品お渡しなど）を従兄にお願いして無事完了しました。

8月の初盆は私達もコロナワクチンの2回目の接種がやっと完了しましたので、帰省して初盆行事を行いました。

その後12月に入ってコロナが収まってきましたので2年ぶりに同好会の武庫川廃線ハイキングや個人的に京都嵐山への紅葉狩りに行きました。

最近ではコロナも感染力の強いというオミクロン株が出てきて先行き不透明ですが、これまで同様に過ごしたいと思います。

今年も宜しく申し上げます。

## 高22 (昭46卒) 大浦綾子 (西宮市)

コロナ禍のため、近畿双松会の皆さまにはすっきりご無沙汰しております。先日やっと（1月16日開催の）「宝塚歌劇鑑賞会」に参加して、久々に懐かしいお顔を拝見出来ました。マスク越しですが、少しお話もできて楽しいひと時を過ごしました。先輩から「2年ぶりだね」と言われたとき、あゝもうそんなになるのかと感慨を新たにしました。

このコロナ禍の中、個人的には激動の2年間を過ごしました。大分に住む夫の両親の度々の入院、施設の移動、葬儀、法事、家や納屋の片付け、相続を巡ってのあれこれ、墓仕舞い・・・、緊急事態宣言が発出されていようがお構いなしの事態の襲来に、それこそ決死？の覚悟で次々と対応し、バタバタと過ごしました。ただいま、少々お疲れ気味です。

自粛が続きましたが、こんな時だからこそ近畿双松会のメルマガ「さんみゃくうかびて」の配信は楽しみの一つとなりました。

先ず『懸賞クイズ いにしえからの挑戦状』は、懸賞品が魅力的だったこともあって、かなりの本気モードでスマホを駆使して検索し4回とも全問正解しましたが、残念ながら懸賞品は当たりませんでした。謎解きはなかなか楽しかったです。

続いて島根県古代文化センター歴史文化講座のオンライン授業も2回ばかり視聴しました。コアな内容でちょっとついていけない時は、画面はそのままちょっと退座して家事をしたり、オンラインならではの、ゆる〜い参加でした。

ふるさと情報誌「湖都松江」のご案内は、定期購読していない私には注文のきっかけとなり、目的の記事も読めました。

気になるふるさと関連のテレビ番組の情報はすぐにメモをして、視聴しました。（メモをしなれば忘れる、せつかくのメモも忘れて見逃すということもあったりのボケぶりですが）

母校の情報も、有り難かったです。最近では「世界の人たれ」プログラムによる公開授業をzoomで覗かせてもらいました。孫のような高校生の後輩達の明るさに癒やしの時間を貰いました。

今朝ほどは、なんとメルマガ第100号の配信がありました。テーマは「宝塚歌劇鑑賞会」でした。これから読もうと思います。

暫く直にはお会いできませんが、いつかマスク無しの楽しい会食ができる日を楽しみにしております。皆さまどうぞお元気にお過ごしくださいませ。

## 高 22 (昭 46 卒) 鶴羽孝子 (尼崎市)

### 【同期会近況報告】

昨年、コロナ感染者がやや落ち着いた 10 月に、同期の内村昭さんが参加された絵画展が大阪市中央区の画廊で開催され、鑑賞に伺いました。久しぶりに作品を拝見し、ご本人にもお会いすることができ、心



和むひと時を過ごしました。

今年 1 月には、内村さんの洋画とともに太田朗夫さんもステンドグラスを出展される作品展が予定されていましたが、コロナ感染者が急増したため、残念ながら延期となってしまうました。時期を改めて開催されるとのことですので、楽しみに待ちたいと思います。

今は同期メンバーが一堂に会することはできませんが、このような機会を活かして交流を続けていきたいと思えます。

## 高 23 (昭 47 卒) 松本幸子 (大阪市都島区)

屋久島！ 12 月 7 日 5 時 55 分、ヘッドライトをつけ、縄文杉をめざして荒川登山口を出発。往復 22 km、10～11 時間の縄文杉トレッキング、リタイアせずに頑張るぞと気合をいれる。

登山ガイドについて片道約 8 km のトロッコ道をひたすら歩く。大株歩道入口から登山道へ。いきなり傾斜がきつくなる。根っこがむきだしの道もあり、滑らないように転ばないように気を付けて歩く。次第に体力が奪われ、周りを見る余裕がなくなる。出発から約 5 時間、やっとたどり着いた縄文杉。樹齢 7, 200 年の神々しさに息を飲み、思わず手を合わせる。

下山途中、足の踏ん張りがきかず 2 度転ぶ。トロッコ道で右足指の痛みが我慢できず登山靴を脱ぎ、借りたシューズで無事荒川登山口に戻ることができた。

やった！ 縄文杉トレッキング、10 時間 20 分完歩！ 温泉が身も心も癒してくれた。

## 高 23 (昭 47 卒) 山口紀子 (神戸市垂水区)

2021 年正月、ふと「今年は何かに挑戦してみたい！」と思い、前から気になっていた漢字検定を受けてみることにしました。

早速準 2 級の問題集を購入。漢検は読み書きだけではなく部首、熟語の構成、四字熟語、同音同訓異字等があることにびっくり。準 2 級は楽しく進み、次は 2 級の問題集へ。これはとても難しく、汗牛充棟？換骨奪胎？？意地悪問題としか思えない部首問題。急に難しくなり苦戦しました。

そして遂に 6 月 20 日検定日。初めて見る熟語や簡単な字のド忘れ、時間がない、等「試験あるある」を久しぶりに経験しながら終了。

自己採点では 1 点不足でしたが 2 か月後になんと「合格通知」が届き、私の挑戦は終わったのでした。

## 高 24 (昭 48 卒) 徳田完二 (京都市北区)

2022 年 3 月末をもって、30 数年にわたる大学教員の仕事をやめることになった。思えば小学校入学以来ずっと「学校」の中にいたことになる。

ある意味では「世間」を知らずに過ごしてきたとも言えるが、その一方、大学というところは平和な楽園のようなところとは程遠く、「社会の縮図」でもあるので、いろいろなことを経験する結果になった。身近なところで殺人事件も起こったし、裁判に関わるはめにもなった。

大学ではいろいろな不正問題やハラスメント問題などは日常茶飯事、とまでは言わないが、めずらしいことではない。そういうことも「社会勉強」のうちと思って過ごしてきた。その中で、後ろ指を差されることなく退職にこぎつけたのは幸いだったと言えるかもしれない。

もちろん楽しい思い出も多い。自分としてはまあまあ満足のいく大学教員生活だったと感じている。私のような者が大学で仕事ができしたのは、「時代」によるところが大きい。大学進学率が上昇して大学が増え、大学教員の需要が増大したこと、とりわけ私の専門である臨床心理学の教員需要が急速に膨らむという流れがあったことが幸いしたと思う。

今は年度末で、いろいろとまとめや整理をしなければいけないため落ち着かないが、気持ちはすでに「隠居モード」になりつつある。

4月からは孫の面倒を見る生活が待っている。孫は0歳児で保育所に行くことになっているが、母親（私の娘）に代わって私が毎日彼の「お迎え」に行くことになる。新学期になると、私は育爺1年生である。

#### 高24（昭48卒）小川ひとみ（加西市）

みなさんは松江を遠く離れて、現在お住まいの町（市）の事をご存知でしょうか。私は約40年住んでいてもあまり知りません。人に「この町の名所や良い所を教えてください。」と言われても、答えることができませんでした。

数年前に播磨国風土記やこの地に多く残っている古墳の話聞く機会がありました。それからです。我が住む加西市について興味が湧き、少しずつですが学ぶことが楽しくなりました。

現在、公民館主催講座『ボランティアガイドが語る ふるさと加西の歴史』で座学とフィールドワークに参加しています。何しろ学生時代から歴史は大の苦手、もっと真面目に勉強しておけば良かったと反省しながらですが、「ワーッ！こんなに名所がいっぱいあったんだ。」と驚いています。

遠出がなかなか難しいこの頃、まず身近なところで楽しみを見つけては…。

#### 高26（昭50卒）周藤達夫（神戸市灘区）

皆様 お久しぶりです。お元気ですか。

コロナ禍の社会的影響が想像以上に長引き、私ども同期も含めて、皆様と長くお会いできていません。多くの方は、この間、行動制限等を受け、窮屈な日々を送られておられると思います。

私事ですが、昨年6月金沢に転勤となり、現在、単身赴任生活をしております。今まで京阪神での勤務が多かったのですが、金沢は初めての勤務地であり、またこの年齢での単身赴任は、ちょっとした出来事でありました。

金沢を含めて北陸には、今まで出張や旅行で何度か訪れたことがあり、個人的には、一度は住んでみたいと思うところの一つでありました。この時期ですので、物見遊山でいろいろ出かけるのも憚られますが、まん防等行動制限の間隙を縫い、北陸の食を堪能し、休日には山や海、寺社仏閣、博物館等を探訪しています。行く先々で感じますのは、想像以上に自然、文化、歴史の豊かさに溢れ、さすが加賀百万石の底力が随所に見受けられます。

また人との関りの中において、糸魚川から敦賀までが職域エリアのため、それぞれの気候、風土に根差した人柄、気質に触れ、啓発されることも多くあります。総じて山陰に似て、控えめ、従順な性格の方が多いですが、郷土愛や誇りというものを強く感じます。

いささか不謹慎な報告となりましたが、皆様の日常と近畿双松会各種活動が少しでも早く以前の状態に戻りますように北国からお祈り申し上げます。



PS. 職場で山岳部を立上げ、20歳台の若手社員中心に月一回程度北陸の山々に出掛けています。もちろん万全の感染対策をしたうえで。(前列左端が私)



### 高26・理5(昭50卒) 松村 聡 (高槻市)

コロナ禍の折、私の近況はと言いますと、台所の食洗器が年末に壊れてしまいました。築20年超の安普請のマンションですので、壊れてもおかしくはないですが、残りの健康年齢から逆算するとこの機会だと思い、とりあえず台所のリフォームに着手、只今工事中です。

休みの日に、嫁さんから言われるままに、箕面や吹田の展示場を見て回りましたが、細かく執拗な嫁さんの質問に、このリフォームにかけるひと方ならぬ執念を感じ取りました。

「もうそれにしとき」と、その場から立ち去ろうとすると、嫁さんから呼び止められ、「自分も使う台所だから、しっかり見といてよ」と。「自分も使うって?」「あたりまえやん」。

どうやら、完全リタイヤ後は、食事は交互に担当するとのこと。「そんなこと、聞いてないよ」。

完全リタイヤ後の新たな夫婦共生を前にたじろぐとともに、少しでも長く職場にしがみついておこうと思っているところです。

### 高31(昭55卒) 宍道弘志 (吹田市)

この度、近畿双松会の新・事務局長をさせていただくことになりました。役員会の議決は経たものの、コロナ禍で総会が開催されなかったため、今後の総会で改めてご報告させていただきます。

まだ事務局長の仕事は分からないことばかりですが、これから2年ほど時間をかけて、前・事務局長の松本会長から仕事を引継いでいきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

私は1961年生まれの高31期ですが、この学年は最初の一年間は西川津校舎に通い、2年生からは新築の赤山校舎に引っ越して、両方の校舎を体験するという幸運な学年でした。また、同窓会が比較的低調なもの、この学年の特徴のひとつで、小・中・高、さらに言えば大学でも共通しています。

東京地区に比べても近畿地区は同期の集まりが少なく、原因の一つは、東京で勤めている人が多いからか、とも考えています。そうした中、ここ数年は近畿地区でも同期会が毎年開かれるようになり、直近では2020年2月に開催されたのですが、その直後からのコロナ禍で、昨年と今年は開催できませんでした。

私たちの学年は2021年度に60歳の還暦を迎え、仕事の上でも定年を迎える年代となるため、本来であれば還暦記念ということで、近畿地区だけでなく学年全体で集まるべきところでしたが、それができず大変残念です。コロナ禍が落ち着くのを待ちたいと思っております。

#### 高 42 (平 3 卒) 三好博子 (枚方市)

2021 年、様々なシーンにおいて、新しい生活様式が確立された年でした。

趣味のマラソンでは、秋からリアル大会が復活し、西宮武庫川ハーフマラソン、奈良マラソン、枚方ハーフマラソンに出ることができました。参加人数を減らし、大会 2 週間前からの健康観察、手指の消毒、時差スタート、スタート前とゴール後のマスク着用が必須になりました。



西宮武庫川ハーフマラソン (2021. 10. 31)

2020 年はオンラインマラソンばかりで、モチベーションが下がり、2021 年は貧血に悩まされました。たまたま近所にスポーツ内科があったことから、そちらでお世話になり、ドクターには貧血の治療、栄養士さんには栄養指導をしていただいています。

また、去年は夏場に走りすぎて、秋に腰痛になってしまい、それ以降、体幹トレーニングにも力を入れるようになりました。

その甲斐あってか、成人の日に開催された、枚方ハーフマラソンで自己ベストを更新することができました。今更ですが、努力の大切さを痛感しています。

#### 高 43 (平 4 卒) 安達宏昭 (箕面市)

新型コロナウイルスの感染拡大が続いておりますが、私が取り組む研究にて、口腔ケアが重要であることを明らかにしましたので、ご紹介します。

この成果は、2021 年 12 月 25 日の TBS 「報道特集」にて全国放映されました。日本 MA-T 工業会のトップページ (<https://matjapan.jp/>) にて動画を公開しておりますので、ご視聴いただければ幸いです。

研究内容を簡単にご紹介すると、要時生成型亜塩素酸イオン水溶液である MA-T (エム・イー・ティー: Matching Transformation system) は、日本で開発され、大阪大学にてメカニズムが解明された新しい除菌消臭剤です。

新型コロナウイルス (SARS-Cov-2) に対する MA-T の不活化効果を確認すると、50 ppm (0.005%) で阻害効果が 99.98%あることが分かりました。MA-T はこの他の各種ウイルスや細菌に対しても高い抑制効果があることを確認できており、感染症対策として有効な液剤と言えます。

MA-T 配合マウスウォッシュによる口腔ケアの臨床研究は、大阪大学にて推進中ですが、新型コロナウイルスを口腔内で受け取らない、増やさない、外にまき散らさないために、口腔ケアが大切です。まだ症例数が少ないですが、コロナ患者の口腔内ウイルスを MA-T 配合マウスウォッシュによりゼロにすることができたことから、感染拡大防止に MA-T で貢献できればと思います。

#### 高 68 (平 29 卒) 寺井萌乃 (大阪大学大学院高等司法研究科)

<起雲館和室から全国へ>

みなさま、こんにちは。68 期卒の寺井萌乃です。2017 年度近畿双松会総会で小倉百人一首の読誦を披露した者と言えば思い出していただける方もいらっしゃるかと思います。あの当時は大学 1 年生でしたが、現在は大阪大学の高等司法研究科、いわゆるロースクールで司法試験に向けて勉学に励んでいます。競技かるたも相変わらず続けておりまして、近畿双松会の時には無資格の読手でしたが、現在は全日本かるた協会 A 級公認読手の資格を取得し、競技かるたの全国大会で読手を務めています。

さて、2021 年 11 月 6~7 日に和歌山県で行われた全国国民文化祭「紀の国わかやま文化祭 2021」の

小倉百人一首かるた大会にて、読手を務めさせていただきました。国民文化祭は国体のようなもので、毎年秋ごろ行われています。競技かるたも部門の一つとして名を連ね、毎年、都道府県対抗の団体戦を行っています。

私は選手としてはまだB級ですので、島根県代表としては出場できませんが、このたび、いつもお世話になっているかるた会様とのご縁で読手のご依頼を受けました。連絡をいただいたときには信じられない気持ちと、数多くいる読手の中から自分を選んでくださったという喜びで一杯になり、すぐさま承諾の連絡をいたしました。

コロナウイルス感染症の影響で、中止になるのではないかと心配していましたが、無事に開催することができました。当日は選手・読手・役員全員が和装で、試合風景はまさに圧巻でした。

私は一日目の2試合目と二日目の1試合目を読ませていただきました。国文祭は競技かるた界にとって大きな大会の一つです。全国各地から強い競技かるた選手が集まり競い合います。久しぶりの大規模な大会にかなり緊張してしまいましたが大会終了後、「いい読みでしたよ」とのお褒めの言葉や、「もっとこうするといいよ」と普段お会いできないたくさんの方々からアドバイスをいただくことができました。私にとってとても有意義な大会となりました。

大会の様子はYouTubeにて掲載されていますのでもしよければ検索してご覧ください。なお、国文祭の他にも競技かるたのチャンネルで読手について私が出演しているものもございます。そちらも併せてご覧ください。



この国文祭には島根県チームもちろん参加しています。例年島根県チームは益田高校出身の方々で構成されていました。しかし、今年は北高の2年後輩でありA級の選手が登録されていました。彼女は高校時代からかるたが強かったのですが、九州大学でさらに強くなり国文祭の島根県代表として選出されたようです。久々の後輩との再会や高校時代からともに切磋琢磨してきた益田高校出身の友達、島根かるたの先輩方にお会いできて強く島根を感じることでできた大会ともなりました。

この国文祭は私にとって、とても感慨深いものとなりました。高校時代、私は高校総合文化祭、通称「総文祭」の読手コンクールで日本一をいただきました。総文祭は高校生だけの参加ですが、国文祭は全世代が参加できます。総文祭で読手をした5年後に国文祭で読手を務めさせていただいたことはこれからの読手人生の糧となりました。

7年前に北高の起雲館で初めて読みをし、3年間必死に練習をしていた自分に、今頑張ることで将来素晴らしい風景が待っていることを伝えてあげたいと思いました。

未だコロナウイルスが広がり、かるた大会も中止になることもしばしばですが、勉学と両立しつつ、競技かるたを一生続けていきたいと思っています。